

Q1 在宅医療を行う上で課題と感じていること

在宅医療を受ける側(患者・家族)			
A 介護力			10
うち、	1 老々介護・認認介護		1
	2 家族への負担		4 ・夜間対応
	3 放任		1
	4 在宅医療への理解不足		4 ・在宅での看取りについて認識がない ・患者本人が在宅医療を了承しても、家族が入院を希望するケースがある
	5 その他		
B 独居			10
うち、	1 後見人		1
	2 急変時等の対応		1
	3 ヘルパー等の介入不足		1 ・歩行困難な患者の場合、訪問診療時にもヘルパーが必要
	4 事務手続き		
	5 見守り		
	6 医療以外の関与の必要性		4 ・多職種連携が円滑に行われるまでに時間を要する
	7 その他		3 ・そもそも誰に連絡して良いのかがわからない ・受入病院／施設がない
C 経済的問題			3 ・自己負担額が高くなる3割負担の患者への対応
D その他			1 ・患者家族の病院への理解不足

Q1 在宅医療を行う上で課題と感じていること

在宅医療を提供する側			
E	24時間／緊急時対応	12	
	うち、		
	1 一人医師	3	
	2 夜間・休日	3	・協力してくれる医療機関が少ない
	3 外来診療とのかけもち	3	・訪問時に予定外のことが起こると、通常の外来診療の妨げとなる ・専門診療科の場合、訪問を行っている医師が少なく遠方からの訪問依頼を受けなければならない。
	4 年齢・体力		
F	参入への壁	2	
	うち、		
	1 初期費用		
	2 器具／消耗品等の購入		
	3 診療報酬	2	
G	提供する医療	4	
	うち、		
	1 患者数の増加		
	2 患者ニーズへの対応・高まり	3	・在宅で行えることの説明等、丁寧な対応が必要となる
	3 治療内容・検査の限界	1	・在宅で行える検査であっても、外来よりも時間がかかる
H	診療科間の連携		
	うち、		
	1 機能強化型	1	・連携方法がわからない
	2 他科	1	・連携方法がわからない
	3 リハ	3	・連携方法がわからない
	4 情報共有	1	・他の職種との情報共有
I	入院医療機関との連携	16	
	うち、		
	1 在宅移行	2	
	2 急変時・病状変化時の受入れ	7	・高齢、認知症の場合の受入れ ・休日夜間の対応 ・後方支援病床が少ない ・短期入院の受入れ
	3 レスパイト入院	1	
	4 退院時の連携	3	・情報提供が遅い(ない) ・退院カンファレンスの日程が直前に決まり調整に苦慮
	5 看取り	1	
	6 その他	2	・休日、夜間の連絡先が不明 ・独居の方の入院受け入れが困難

Q1 在宅医療を行う上で課題と感じていること

在宅医療を提供する側(続き)		
J 介護事業者との連携		10
うち、	1 訪問看護ST	2
	2 ケアマネ	4 ・夜間対応可能なケアマネが少ない ・訪問医への相談が少ない(ない)
	3 その他	4 ・ヘルパー教育 ・訪問介護との緊密な連絡体制
K その他		1 ・道路事情から徒歩でしか訪問診療を行えず、対応可能な患者に限界がある
制度的な問題		
L 施設等の不足		2 ・在宅医療以外の選択肢の拡充 ・独居での療養が難しくなった場合の受入れ可能施設
M 駐禁		1 ・訪問時の駐車場所が少ない
N その他		
その他		2 ・往診のニーズを地域のかかりつけ医が知る方法がない

患者の受入れ		
A 受入れを望む患者像・状態		
1 急変時	9	・スムーズな受入れ ・休日、夜間の受入れ ・高齢患者の受入れ
2 独居	2	
3 複数疾患を抱えている患者		
4 認知症	1	・認知症患者の急変時の受入れ
5 精神疾患		
6 短期入院	1	・入退院を繰り返すケースへの対応
7 検査入院	1	・検査結果をきちんとフィードバックして欲しい
8 レスパイト	3	・軽い症状であっても広く受け入れて欲しい ・特に、慢性期機能の病院に対応してもらいたい
9 状態悪化等で在宅医療が継続困難な場合(長期療養)	1	・高度医療は必要としないが、在宅でのケアが出来かねる高齢者への対応
10 看取り	1	
11 感染症		
B 受入れ手続き		
C 入院受入れ・医療機関の情報		
	1	・診療時間外の連絡先等の情報がほしい(電話・FAX・メール)
在宅医と病院の連携		
A 在宅移行支援	7	・慢性期機能の病院は患者をもう少し早く手放して欲しい ・退院カンファレンスの日時を病院都合で決めないで欲しい ・看取り予定の患者については、より丁寧な退院カンファレンスをお願いしたい ・退院後の支援を行う在宅医に対する情報提供をちゃんとして欲しい ・すぐに在宅に帰すのではなく、回復期や慢性期病院への転院も検討して欲しい
B 地域連携の推進		
C 逆紹介の希望		
在宅医療への理解		
その他入院医療に求めること		
	1	・訪問リハビリテーションの充実

Q3 行政(区市町村・都)に対して望むこと

在宅患者の療養生活を支える関係者への支援・働きかけ		
A 医療と介護の連携	1	
B 24時間安心して療養できる体制の構築	7	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅患者専用の病床確保、持ち回りでの入院受入れ ・孤独死の予防 ・在宅医療と入院／外来医療との連携体制の構築 ・多職種が連携を取れる場の確保 ・在宅に関するほぼすべての職種が集まれるような講演会の開催 ・往診を必要としている患者ニーズを医療機関側から知ることができるシステムの構築 ・専門診療科であっても在宅医療に取り組みやすい体制作り
C 人材の確保・育成	1	<ul style="list-style-type: none"> ・質の高いケアマネジャーの育成
D その他	3	<ul style="list-style-type: none"> ・地元のかかりつけ医が力を発揮できるような体制づくり ・独居患者に対する介入について相談できる窓口の設置
患者・家族に対する支援・働きかけ		
A 高齢者(独居や認知症など)へのサポート		
B 経済的負担に対する支援		
C 普及啓発		
1 制度・サービス	1	
2 在宅医療について	2	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療を知ってもらうための広報活動
3 かかりつけ医	1	<ul style="list-style-type: none"> ・独居で引きこもりの方を医療につなげるようなサポート
D 小児在宅(のコーディネーター)		
E 相談窓口		

Q3 行政(区市町村・都)に対して望むこと

行政自身に望むこと		
A 適切な介護認定		
B 高齢者施設の確保	3	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急避難的なショートステイの受入れ ・身体疾患が重篤化した人に特化した老健の整備 ・特養の建設
C 在宅医療への移行を適切に推進	3	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅での看取りのみを進めないで欲しい ・在宅のみでなく、施設入所という選択肢を広げて欲しい
D その他	3	<ul style="list-style-type: none"> ・独居老人の把握 ・行政への相談窓口の周知 ・地震等災害時の在宅患者への対策マニュアル作り
その他	1	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問診療時に駐車を取られないような対策